

# 町田通勤寮だより

NO 44 2014年3月

## 東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

### ご挨拶

突然ですが、この度、私こと平成26年3月31日をもって社会福祉法人つるかわ学園を退職させていただくこととなりました。

入職し、ちょうどまる10年。当時、1年近い放浪の旅からの社会復帰のつもりで、正直なところ通勤寮とは何かもよくわからずに入職しました。まさか10年後に寮長を務めさせていただいているとは。人生何が起こるか本当にわかりません。そして、寮長を拝命してたった約二年後に、こういう決断をするということもまた、想像だにしておりませんでした。

この10年間、過ぎてみるとあつという間でしたが、よくよく振り返ると本当にいろいろなことがありました。1年目は通勤寮の支援員、2年目から約7年間はグループホームに携わりました。利用者さん

にしてもスタッフにしてもそのすべての方々との出会いが私をここまで育てていただきました。月に数回くらい小説より奇なる出来事を経験させていただきましたので、飽きることなく、気が短い自分の性格にはびつたりの仕事でした。数年後の民間移譲を迎えたこの時期に、寮長としての職務を満身に果たすことができないうちに法人を去ることは残義に堪えません。しかし、被災地支援を通していただいたご縁に、熟慮の上このような決断をいたしました。

思うところあつて足を踏み入れた福祉の世界。やはり4月以降も福祉に携わる予定です。

多摩地区の福祉、東京の福祉についてどのようにお役に立てるかを考えながら、引き続き精進していく所存でございます。短い間でしたが、本当にありがとうございました。今後とも町田通勤寮をよろしくお願い申し上げます。

(岩田)

### 新年会

1月26日(日)、寮内の食堂・集会室にて新年会及び成人祝賀会を開催しました。寮生、保護者、職員合わせ55名の参加となり、大変賑わいを見せました。また、今年は男性4名女性3名、計7名の寮生が新成人となり、晴れて大人への仲間入りを果たしました。入寮当初からお世話になっているフクシア市川センター長よりお祝いの言葉を頂き、より一層実感が湧いたことでしょう。

新成人7名には新年の抱負・目標を一人ずつ語ってもらいました。



皆さんおめでとうございます！



美味しい料理がズラリと並びました。

ある寮生からは「新年早々一歩踏み外しました！」と思わず笑いが飛び出るような冗談とも言えぬ発言が出ていました…。

20歳を超えると皆一人前の大人として扱われます。つまり、自分の行動全てに責任を持たなければなりません。自由は責任あつてこそです。

通勤寮生活も後半戦に差し掛かったところで、再度社会人としての自覚を持ち、将来の自分を見つめ、無駄のない生活を過ごしてもらえたらと思います。

改めて新成人の皆さん、成人おめでとうございます。

(柄本)

## クラブ活動

2月2日(日)に今年度最後となる第6回クラブ活動を行いました。この日は男性1名が「一人でも全然平気！」と参加してくれました。お花は①あおもじ②ガーベラ③そりだこの3種類をバランスよく興行を意識しながら生けていきます。アドバイスを忠実に守り、出来上がりは、「手直し不要」と誉められました。

お茶は普段は先生に点てて頂くのですが、今回は点てる側も体験させてもらいました。

泡が立たず苦戦していましたが良い経験になったようです。

お茶菓子も楽しみの一つで、今回はかりんとう饅頭でとてもおいしかったです。

次回は4月にこどもの国「お花見遠足」を予定しています。

(浅田)



次回は参加者が増えることを期待します



見事な作品です

## 横浜線の変化

年が明けてから、寮の前でカメラを持った鉄道ファンをよよく見かけるようになりました。特殊な回送列車や臨時列車ではたまに見られましたが、此度は数も頻度も違います。かねてから「横浜線の電車が新しくなる」と言われていましたが、2月から新型への置き換えが始まっています。E233系という形式だそうで既に中央線や東海道線などでも走っています。性能も収容力も向上していて、ドア上にテレビもあります。最高速度は変わらないとのこと。

寮内でも「試運転を見た」、「もう乗った音が静かだよ」と話題になっていました。通る電車に「おっ新型だ!」とついつい注目。成瀬に長く住む職員は「ついに新型か」と感慨深げ。今まで他線区からの「お下がり」ばかりでしたから(実は現行の205系は新製が多かったようですが)。

ところで、この寮前の線路、緩やかなカーブでアングルが付けやすいことや、駅に近く速度も緩めであること、コンビニが近いことなどから撮影スポットとして人気のようです。現在主力の205系(国鉄末期の設計で「最後の国電」と呼ばれているそうです)が今後1年程度で引退(廃車・解体か地方や海外に譲渡されて、首都圏では殆ど姿を消すそうです)とあって、しばらくこの賑わいは続きそうです。

当たり前の光景もいつまでも当たり前ではなく、少しずつ変化していくことを感じさせられる出来事でした。

(山内)



新たにトレードマークが追加!



通勤寮の前で一枚

## スポーツの話題

ソチオリンピック、日本人選手の活躍が注目を集めていましたが、寮内では殆ど話題に上りませんでした。生中継が日本時間では深夜未明になることが多かったからでしょうか。そういえば過去の五輪を見ても一番盛り上がったのは時差の少なかった北京だったと記憶しています。スポーツで話題になったのはマー君のメジャー移籍。中でも移籍にかかる総費用(160億円)には「すげえなあ」との声がしきりと聞かれました。

(山内)

## 地域生活講座

フクシア在籍時から何故か講座に縁があり（以前はグループホーム学習と呼称）、かれこれH20年度からの付き合い？となっています。主に地域での生活について皆でディスカッションをしたり、通勤寮卒業生や世話人さんの話を聞いたり、グループホーム見学をしています。

通勤寮の利用者さんは特別支援学校卒業後、もしくは施設から移って来て間もない人が多い為か、まだ生活の基礎が出来ていない人が多く感じられます。しかし、通勤寮を卒業して10年以上経っている先輩利用者さんを呼んで話をして貰うと、すでに基礎が出来、仕事や生活パターンも出来上がり、余裕のある人は余暇を楽しんだり、QOLを更にレベルアップするべく楽しんでいる人も見られ、やはり現役の通勤寮利用者さんとは違うなあと実感する事があります（※勿論、例外もあります！）。

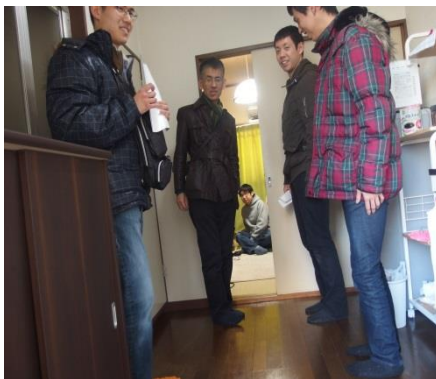
最近の通勤寮利用者さんは単身生活への気持ちも強い様子なので、今後は東京都のモデル事業でGHから巣立っていった先輩にも声を掛け、単身生活について語って貰う事も視野に入れていきたいと思っています。

通勤寮は通過型で限られた時間ですが、その基礎の一部でも助力出来れば幸いと職員一同励んでいる所です。

（青木）



熱心に話を聞いています。



皆さん若干緊張気味です。

## 福祉マラソン

3月2日（日）に毎年恒例、東京都社会福祉協議会主催「第26回心をつなげる福祉マラソン大会」が皇居（桜田門）にて開催されました。町田通勤寮・グループホームから計10名の利用者が参加。2月中は利用者とジムトレーニングに励み、恩田川沿いをランニングし、心も体も準備万端！…と思いきや、天気を確認すると雨の予報が…。やはり、当日の天気も悪く、「これだけ気温も低く、雨が降っていたらさすがに中止だろう…」と高を括っていましたが、運営本部に電話確認すると「大会は実行します」とのお返事。頭の中では自然とロッキーマのテーマが流れ始め、勝手に「70年代の青春ドラマのように土砂降りの中無我夢中に走る事になるかもしれない…」などとよくわからない妄想をしながら皇居へ。現地へ到着すると、雨は止んでいましたが、参加を辞退した施設も多いようで去年より



も参加者が少ないように見えました。開会式・準備運動を終え、10時に一斉スタート！（私も利用者の伴走者として5キロ走りました）。最初から猛スピードで飛ばす人もいれば、ゆっくりとしたペースを維持する人など走り方は様々で、参加者の懸命な姿が印象的でした。また、町田通勤寮の男性利用者が5キロの部1位でゴールするという快挙も見せつけてくれました！その他にも昨年比べてタイムが伸びた方も多く、参加利用者は無事完走。天気もなんとか最後まで持ちこたえてくれました。

この「心をつなげる福祉マラソン大会」の始まりはつるかわ学園が主催し、今現在へと至ります。この伝統を法人の職員としても守り、町田通勤寮としても参加を続けていきたいと思えます。悪天候の中、応援に駆け付けてくれた保護者の方々も本当にありがとうございます。（岩崎）



スタート直前



10キロコースに挑む方も！

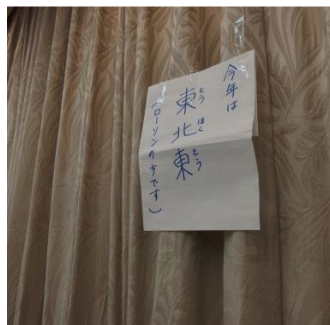
## 節分

二月の代表的な行事の一つとして節分があります。通勤寮では毎年、節分当日の夕飯では恵方巻きを提供しており、今年の恵方は東北東だったので通勤寮の食堂を中心として、ローソンの方角でした。調理員が作った恵方巻きはボリューム満点で利用者の皆さんからも大好評。食を通して味を楽しむことによって日本の文化を知り、「過食時代」と呼ばれる今だからこそ、食べることの喜びやありがたさを忘れてはならないと思います。ごちそうさまでした。

（岩崎）



手作りの恵方巻き



今年の恵方は東北東でした

## 昼食作り

2月16日（日）に今年度最後の調理実習を行い、今回も男性5名の参加でした。（そのうち一人は利用者さんのドタキャンの変わりに飛び入りで参加して頂きました）。今回も女性の参加者はいなくて残念…。

メニューはカレーライス・サラダ・かき玉汁、牛乳寒天。今回は市販のカレールーを使わずに手作りでの挑戦！初めてのルー作りは大変な作業でしたが、利用者さんはがんばって1時間かけてルーを作ってくれました。苦勞した分、とても綺麗なルーとなり、今まで作ったカレーとは一味違い、甘みのある美味しいカレーが出来ました。サラダも綺麗に盛り付けし、かき玉スープも美味しく出来上がりました。利用者さんも包丁の使い方に慣れて上手になったように感じます。牛乳寒天は砂糖を入れるのを忘れてしまったので、後からきな粉をかけて食べました。失敗しても盛り付けでカバー！

次回も楽しみです！一緒に楽しくお昼づくりに参加して下さい。次回は4月に行う予定です。



とてもおいしそうですね！



食べごたえも十分です！

(大場)

## フクシアから

地域生活支援センター「フクシア」は大きな転機を迎えています。平成26年4月より事業所体制を大幅に変更し、従来の6事業体制から3事業所に統合され職員の勤務体制も変わります。

世話人及び生活支援員はもとより、利用者の皆さんも戸惑うことがしばらく続くのではと思われれます。

しかし、厳しい福祉環境の中では「自助努力」をしていかないと生き延びていけない現状があり、やらなくてはならないのです。健全な経営「改革」を目指して現在奮闘中です。

やはり、「改革」を行うにはかなりのエネルギーを使います。でも必ずや良い方向に進むことを確信して取り組んでいるのです。

現在、「改革」を行うにあたり不安は全くありません。むしろ期待と楽しみの気持ちでいっぱいです。

今後の「フクシア」に乞うご期待！

(市川)

## 今後の予定

- ・ 4月6日(日) 入寮オリエンテーション・バーベキュー
- ・ 4月13日(日) クラブ活動(こどもの国へ遠足)
- ・ 5月11日(日) 第22回関東地区通勤寮ソフトボール大会  
(栃木県壬生町総合運動場 運動広場)
- ・ 6月7日(土) 第15回東京都障害者スポーツ大会  
(杉並区上井草スポーツセンター 野球場)

(\*ソフトボールでの参加予定)

## 編集後記

時間の流れは早く既に3月となりました。この三か月間で強く印象に残っているのは2月の大雪です。関東では45年ぶりの記録的な大雪となったようで、交通機関が麻痺して首都圏内はパニック状態となり、多くの二次災害をもたらしたようです。(私も退勤後に横浜線が運休してしまったので、泣く泣く町田の漫画喫茶で一泊しました。)

ただ、そういった辛い出来事ばかりではなく、通勤寮では地域の方々と雪かきを通して、新たな交流が生まれたのも確かです。雪に埋もれた横断歩道の除雪作業にも自然と人が集まり、苦労した分、地域の方々と喜びを分かち合うことができました。普段触れ合うことのない地域の方と「ご苦労様!」・「今年の雪は凄いな」と会話することで心だけでも温まり、利用者さんも大いに奮闘してくれました。

日が長くなり、徐々に春の訪れを感じますが、まだ寒い日が続きます。皆様ご自愛ください。

(岩崎)